

花のある空間

大高 令子

小花を集めた早春のパニエ



今月の花材

サイネリア [ティアスノーブルーアイ] —— 花芯が紫、花弁が白い花
ワスレナグサ —— 青い花
ビオラ —— 黄・白・紫の三色の花
ムシカリ —— 長楕円形の枝葉
ヘデラベリー —— 黒い実のついた枝葉
その他 —— パニエ (かご)
フローラルフォーム (フラワーアレンジメント用の吸水スポンジ)
セロファン

凍えた大地にも、植物が芽吹き始めるこの頃。街のフラワーショップには、一足早く春を告げる使者のような可憐な草花が並び、1年で最も冴えた色彩に包まれます。

今月は可憐な小花や枝葉を集めて、早春の光のような柔らかいパニエ (かご) のアレンジメントを楽しみましょう。

まず花器ですが、小花などを可愛らしい印象にアレンジしますので、あまり大きくないパニエを用意します。

水が漏れないようパニエの内側にセロファンを敷いて、給水したフローラルフォームをパニエから出ない程度の高さにセットし、パニエの5分目程度まで水を入れておきます。

次にムシカリの枝葉を、高さ・幅のアウトラインを定めながら挿し、さらに全体のクッションになるよう数本挿し加えます。

アウトラインが決まったら、サイネリアを全体に挿し、ところどころにワスレナグサとビオラをアクセントに挿していきます。

最後にヘデラベリーを、花とパニエのすきまを埋めるように挿します。挿す際には、小さなブーケをパニエに入れたように、それぞれの茎がパニエの1点に向かうようにすると、バランスのとれたアレンジになります。

春咲きの花の茎は柔らかいものも多いので、フローラルフォームに挿すときはデリケートに扱いましょう。

おおか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。